



時 間

Journal of Chronobiology

生 物 学

Vol.16 No.2 2010

第 17 回日本時間生物学会学術大会 抄録集
2010年 11月 20日・21日

今号の表紙 三上嘉啓『Untitled』

作者のことば

生命と時間をテーマに、時の流れの中で生きる生命体のエネルギーを、一つの集合体として表現しました。多種多様な生命の営みと誕生のリズムは、生命と時間が紡ぎだす「進化」へと繋がっていきます。生物が進化していく過程には、少しずつ積み重ねられていく生命進化の歴史がありますが、今回のデジタル環境での、規則性と感覚的な処理が伴った制作過程と、どこか似ているように感じました。まず植物と生命体が融合したかのような抽象的な個体を描き、また別の形態へと変化させながら分裂を繰り返していきます。そうして拡がりを持たせていくと同時に密度調整も行いながら制作していきました。そうした制作を続けるなかでデジタルな細胞分裂の記録を集合体として表現することに辿りつきました。

三上嘉啓（みかみ・よしひろ）

1984年生まれ。デザイナー。

プロダクト、空間、グラフィックを中心としたデザイン活動を行う。

www.yoshihiromikami.com



編集後記

■記録的な猛暑が過ぎ、秋らしい日々となりました。皆様にはご活躍のことと拝察いたします。16巻2号をお届けいたします。例年通り学会大会予稿集を兼ねております。今号には総説と技術ノートをそれぞれ1件掲載いたしました。それぞれ大変興味深い内容であり、執筆者の方々に感謝いたします。

■表紙のデザインは、昨年度公募しましたデザインコンペで準大賞作品に選定された、三上嘉啓氏の「Untitled」です。作品については、表紙裏の作者のことばをご参照下さい。

■編集局の担当に就いてから、既に6年が経過しようとしております。私（富岡憲治）の編集担当も、今号で最後となります。会員の皆様には、これまでいろいろとご協力を頂き有り難うございました。心よりお礼を申し上げます。また、編集委員としてご協力頂いた委員の方々や、査読に協力頂いた会員の方々に深くお礼を申し上げます。次号からは新しい編集局で業務が始まります。学会誌はしばしば学会の顔であると言われますが、会員の皆様には本学会誌がさらに良いものとなりますように、一層のご協力をお願いいたします。最後になりましたが、会員の皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。

時間生物学 Vol. 16, No. 2 (2010) 平成22年10月31日発行

発行：日本時間生物学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/jsc/index.html>)

(事務局) 〒162-8480 東京都新宿区若松町2-2

早稲田大学先端生命医科学センター 柴田研究室内

Tel&Fax: 03-3341-9815

(編集局) 〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1

岡山大学大学院自然科学研究科 生物科学専攻内

Tel&Fax: 086-251-8498

(印刷所) 名古屋大学消費生活協同組合 印刷・情報サービス部